

就任のごあいさつ

各種施策の実現に 誠心誠意努力

副町長 古閑森 一美
(五楽、60歳)

平成23年12月町議会においてご同意をいただき、副町長として仕事をさせていただきました。

私にとっては、本当に身に余る光栄でありますと同時に責任の重さに身の引き締まる思いであります。

私は、本町の職員として約37年間、総務課、建設課、教育委員会などで勤務してまいりました。今後は、これまでの行政経験を生かしながら、厳しい財政状況ではありますが、職員と共に力を合わせて、住永町長が進めておられます「日本一住みよいまちづくり」へのさまざまな施策の実現に向け、誠心誠意努力してまいります。

つきましては、町民の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



熊本総合工業団地へ 2社進出決定

アクシス出版株とプリントオン株

熊本総合工業団地(広崎)内に、アクシス出版株式会社(熊本市)とプリントオン株式会社(同)の2社が進出計画を決め、昨年12月22日、

本町と立地協定を締結しました。

アクシス出版株、プリントオン株共に印刷・出版業を営み、さらに広告事業、

両社は、本社を益城町に移転し、今年2月(予定)創業開始に伴い、新規雇用は地元出身者を優先することを明らかにしました。

木需要拡大推進協議会から、保育園ちびづ子ランドましき園(惣領、杉村隆園長)と子守の郷グランマ(馬水、鳴海環園長)にクリスマスプレゼントとしてヒノキの木製玩具が贈られました。

子どもたちへ木製玩具の贈り物

上益城地域木材需要拡大推進協議会から

12月21日、上益城地域木材需要拡大推進協議会から、

木の文化や森林、地球環境への理解を広め、ひいては、木材需要の拡大を図ろうと同協議会が毎年取り組んでいるものです。

ぬくもりに親しむことで、木製玩具が贈られました。「木のおもちゃは優しい心を育てくれる」と杉村園長は喜んでいました。

玩具を受け取る杉村園長(写真右)

12月21日、上益城地域木材需要拡大推進協議会から、保育園ちびづ子ランドましき園(惣領、杉村隆園長)と子守の郷グランマ(馬水、鳴海環園長)にクリスマスプレゼントとしてヒノキの木製玩具が贈られました。

これは、幼少期から木の



2社の進出が決まった工業団地内の現地